

クリーンレイク諏訪 諏訪湖だより



第23号 (H28.11月発行)

今月のトピックス

平成27年度末の汚水処理人口普及率がまとまりました

毎年、国土交通省、農林水産省、環境省でとりまとめている汚水処理人口普及率ですが、平成27年度末の状況が9月5日公表されました。長野県は97.4%で、昨年度より0.1ポイント上昇し、全国順位は6位でした。公表資料はこちらをごらんください↓

<http://www.pref.nagano.lg.jp/seikatsuhaisui/infra/suido-denki/gesuido/osuishori.html>

汚水処理人口普及率とは、下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽及びコミュニティ・プラントの汚水処理施設の普及率で、総人口に対するそれぞれの汚水処理施設の供用開始公示区域内人口及び浄化槽、コミュニティ・プラントによる処理人口の和の割合で表します。諏訪湖流域下水道の区域だけの普及率は、98.4%となっています。

諏訪地域の汚水処理人口普及率等

(平成27年度末)

市町村	普及率 (%)				諏訪湖流域 下水道区域 の普及率	諏訪湖流域 下水道区域 の接続率
	下水道	農集排	浄化槽・コミプラ	合計		
岡谷市	97.0		0.3	97.3	99.5	97.1
諏訪市	98.7		0.4	99.2	99.1	98.0
茅野市	96.7		2.4	99.1	96.7	95.1
下諏訪町	99.9			99.9	99.9	96.7
富士見町	71.9	20.7	4.5	97.1	90.2	85.6
原村	85.0		14.4	99.4	96.6	94.4
諏訪湖流域下水道区域全体					98.4	96.4

普及率は、下水道などの汚水処理施設を使える状態になっている人口の比率ですが、それに対して実際に下水道を使っている人の状況を表す指標が、水洗化率です。諏訪湖流域下水道では、実に96.4%の人が下水道に接続しています。

諏訪湖の富栄養化の大きな原因の一つが、生活雑排水の流入でした。下水道の普及により、生活雑排水は適正に処理され、諏訪湖の浄化につながったことは皆様ご承知のとおりです。今後も引き続き、下水道の適正使用に御協力いただきますよう、お願いいたします。

管路パトロールやっています

下水処理場には様々な施設があります。水処理施設、汚泥処理施設・・・御覧になった方も多いと思います。ただ、下水を処理場まで運ぶ下水道管を意識することは少ないのではないのでしょうか。下水道管は地面の下に埋まっています、表面に出ている部分はマンホールだけ。内部の状況はなかなか分かりません。

諏訪湖流域下水道事務所では、内部の状況を確認するためのカメラ調査やマンホールを開けての内部点検も定期的に行っていますが、流域下水道の下水道管（幹線といいます。諏訪湖流域下水道には湖周、中央、茅野、上社、西山、白樺湖、上原、富士見の8幹線があり、総延長55.3kmとなります）が埋設されている道路等を毎月パトロールして点検しています。マンホール等に異常があれば、すぐに補修等を行います。

諏訪湖流域下水道の幹線の詳細についてはこちらをごらんください↓

<http://www.pref.nagano.lg.jp/suwakoryuiki/jigyo/gesui/kanro-shisetu.html>



マンホール周辺の舗装がいたんでいました。



舗装を修繕。きれいになりました。



管路パトロール車。この車でパトロールしています。